

2年

学ぶ楽しさを味わい、進んで活動する子ども

〈ねらい〉

本学年の子どもは、関心があることには熱心に耳を傾けることができる一方、関心が薄いことには集中して聞くことが難しい場合があります。耳からの情報だけでは、具体的に内容を理解したり、考えを深めたりすることが難しい面もあります。そこで、ICTを活用し、目からも情報を得ることで、子どもたちの「わかる」をサポートしたり、より学ぶことの楽しさを味わわせたりすることができると考えました。さらには、「どうしてかな」「どのようになっているのだろう」という思いをもち、主体的に学習に取り組むことができるように、手立てを工夫しました。

〈活動の様子〉

算数科「三角形と四角形」の単元で、授業を行いました。タブレットの学習支援ソフトを使って、三角形や四角形の図に直線を引き、2つに分けるとどのような形になるのかを考えました。

図形に直線を引く時には、「ものさし」の機能を使うことで、簡単に直線を引くことができたり、引くところを間違えてもその線を消し、何度もやり直すことができたりと、子どもたちは、試行錯誤しながら考えることができました。

また、考えた図を教師用タブレットに提出し学級全体で共有したことで、「自分と一緒に」「こんな分け方があるんだ」と興味深く学ぶ姿が見られました。各自のタブレットに学級全員の考えが映し出されたことで、多くの見方を知ることができ、一層理解が深まりました。

今後も、子どもの意欲が高まり、主体的な学習への取り組みとなるよう、いろいろな教科・場面での活用を考えていきたいです。



【図形に直線を引いている様子】



【友達の様子を見ている様子】